

インターネット利用に関するアンケート結果

回答者数

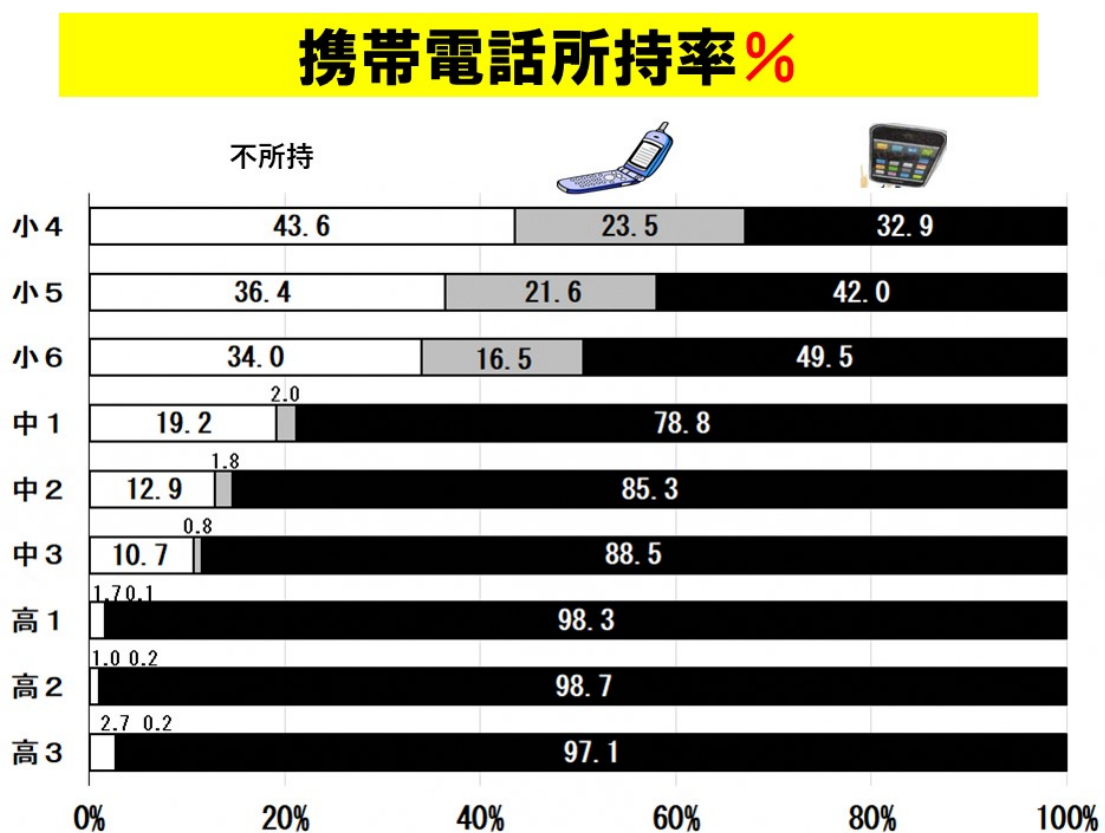
<京都府内> インターネット利用に関するアンケート 2023

小4	930人
小5	807人
小6	849人
中1	1872人
中2	1823人
中3	1965人
高1	1374人
高2	1240人
高3	588人
合計	11448人

令和5年5月から6月の2か月の間、京都府内の学校に通う、小学4年生から高校3年生までの児童・生徒を対象にインターネット利用に関するアンケート調査を実施したところ、11,448人の児童・生徒の皆さんから回答をいただきました。

インターネット利用に関するアンケート結果

学年・男女別携帯電話所持率

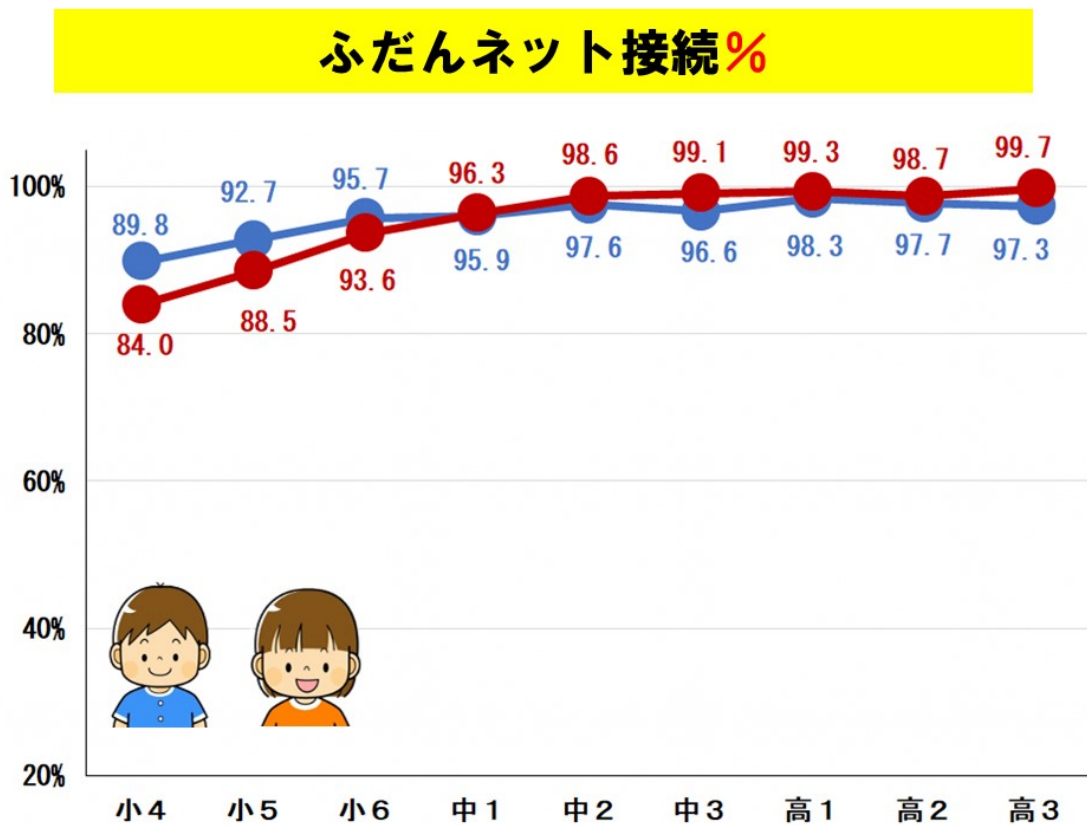


学年が上がる毎にスマートフォン等の携帯電話の所持率は上がります。

また、中学生になるキッズケータイ等のガラケーの所持率が下がり、スマートフォンの所持率が一気に上がります。

高校生になると、ほとんどの生徒がスマートフォンを持つようになります。

インターネットの接続状況



男女とも小学4年生から高い割合でインターネットを使っています。
子ども達がインターネットを使うことは、当たり前のことになっています。

インターネットに一番接続する機器

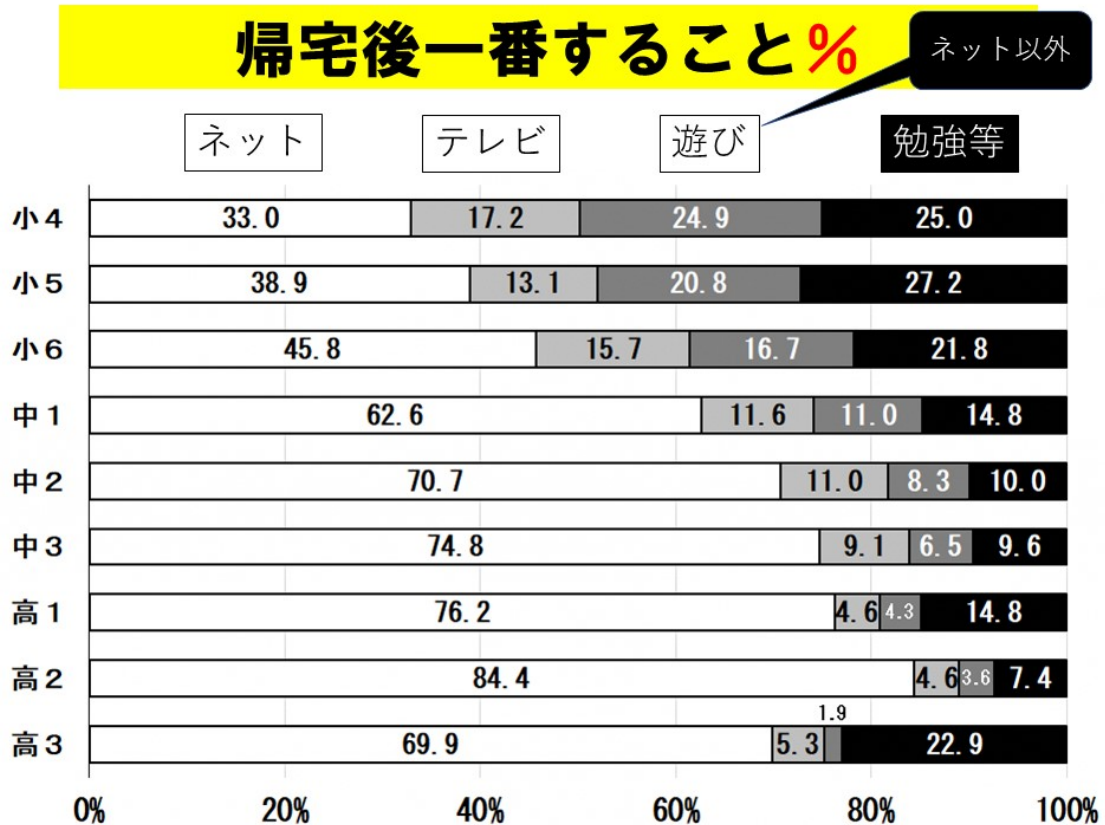
一番ネット接続する機器

 男子	小4	ゲーム機
	小5	ゲーム機
	小6	ゲーム機
	中1	スマホ
	中2	スマホ
	中3	スマホ
	高1	スマホ
	高2	スマホ
	高3	スマホ

 女子	小4	スマホ
	小5	スマホ
	小6	スマホ
	中1	スマホ
	中2	スマホ
	中3	スマホ
	高1	スマホ
	高2	スマホ
	高3	スマホ

一番インターネットを接続する機器について、男子は、小学4～6年生の間は、ゲーム機で、中学校に入るとスマートフォンになりますが、女子は、小学4年生から、スマートフォンがインターネットに一番接続する機器になっています。

帰宅後一番すること



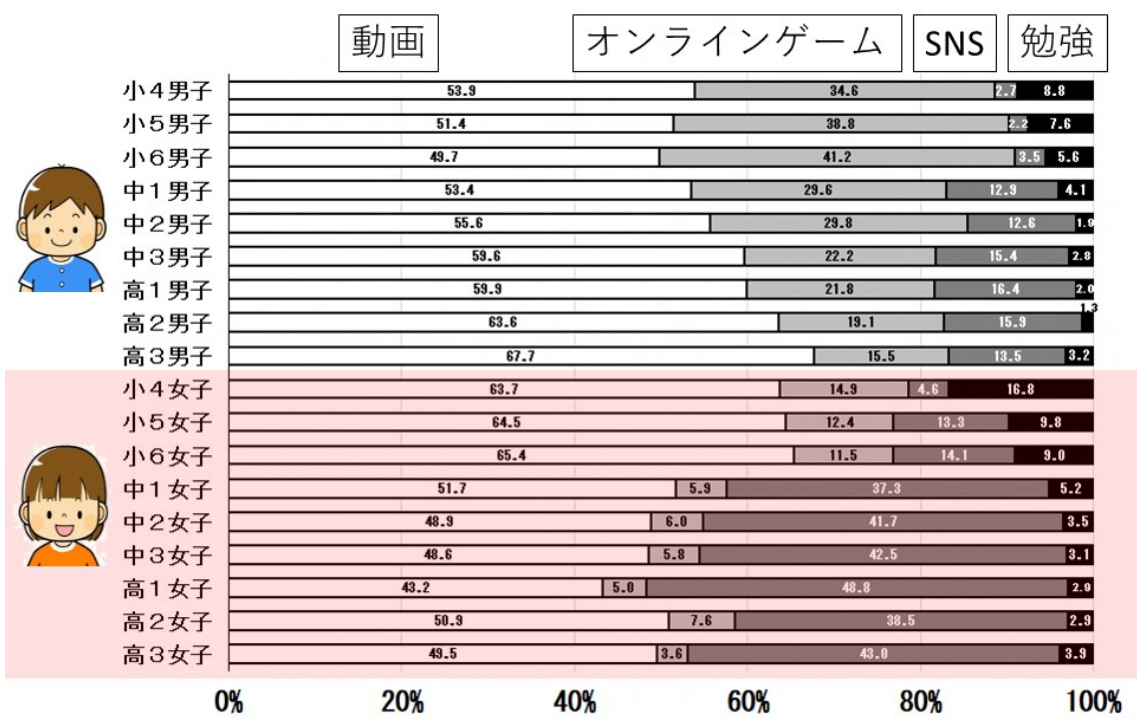
小学4年生の時点からインターネットが家で一番することになっています。

中3、高3の受験生でさえ、ネットが中心です。

高3では、勉強（オンライン学習を含む）が増えますが、それでも約7割は、ネット（オンライン学習は含まない）が一番となっています。

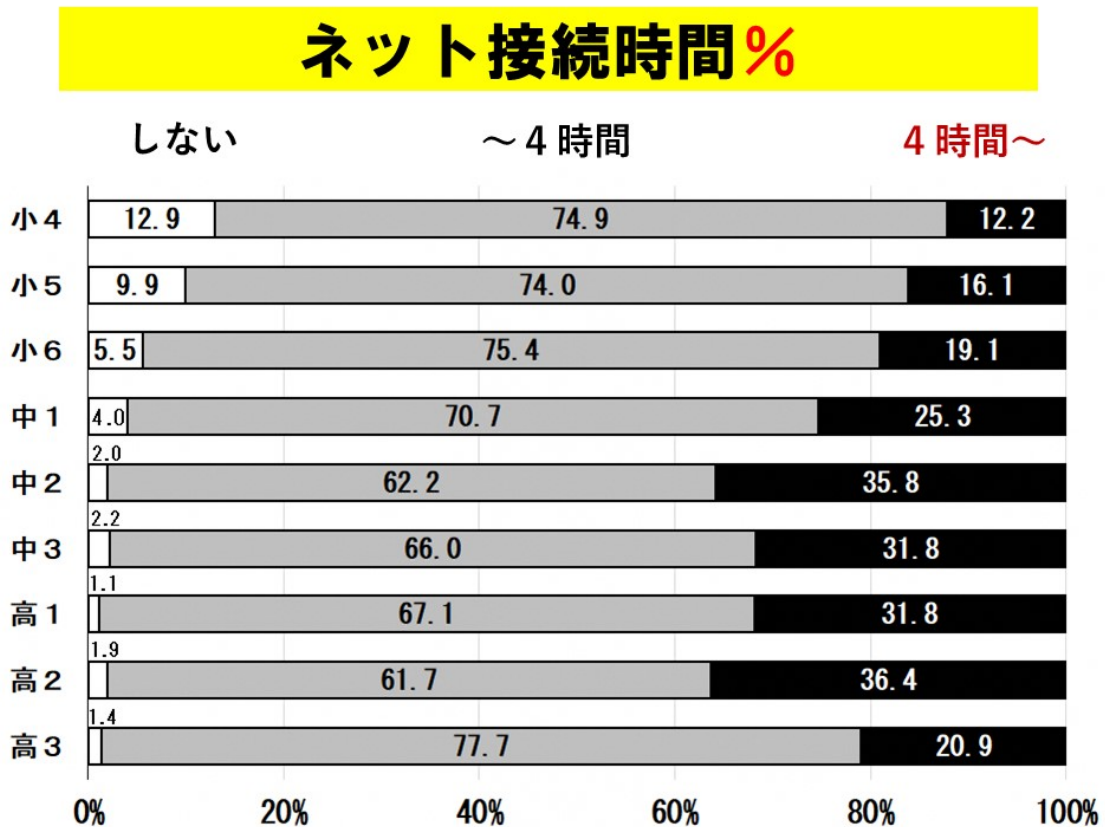
インターネットで一番すること

ネットが一番すること%



男女とも動画の視聴が1番多いのですが、2番目に多いのが男子はオンラインゲーム、女子はSNSが多いという特徴があります。

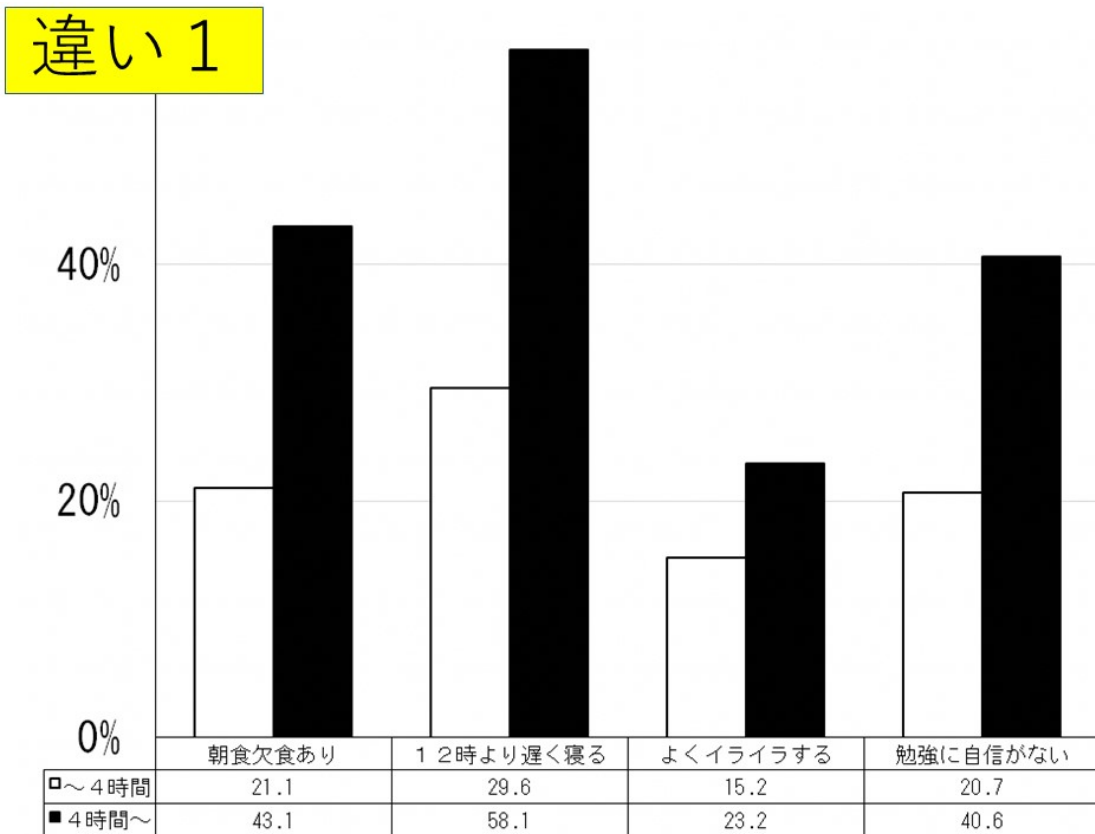
インターネット接続時間



中学2年生から高校2年生では、3割以上の方が4時間以上インターネットを使っています。

つまり、3~4人に1人が4時間以上使っていることになります。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人の比較①

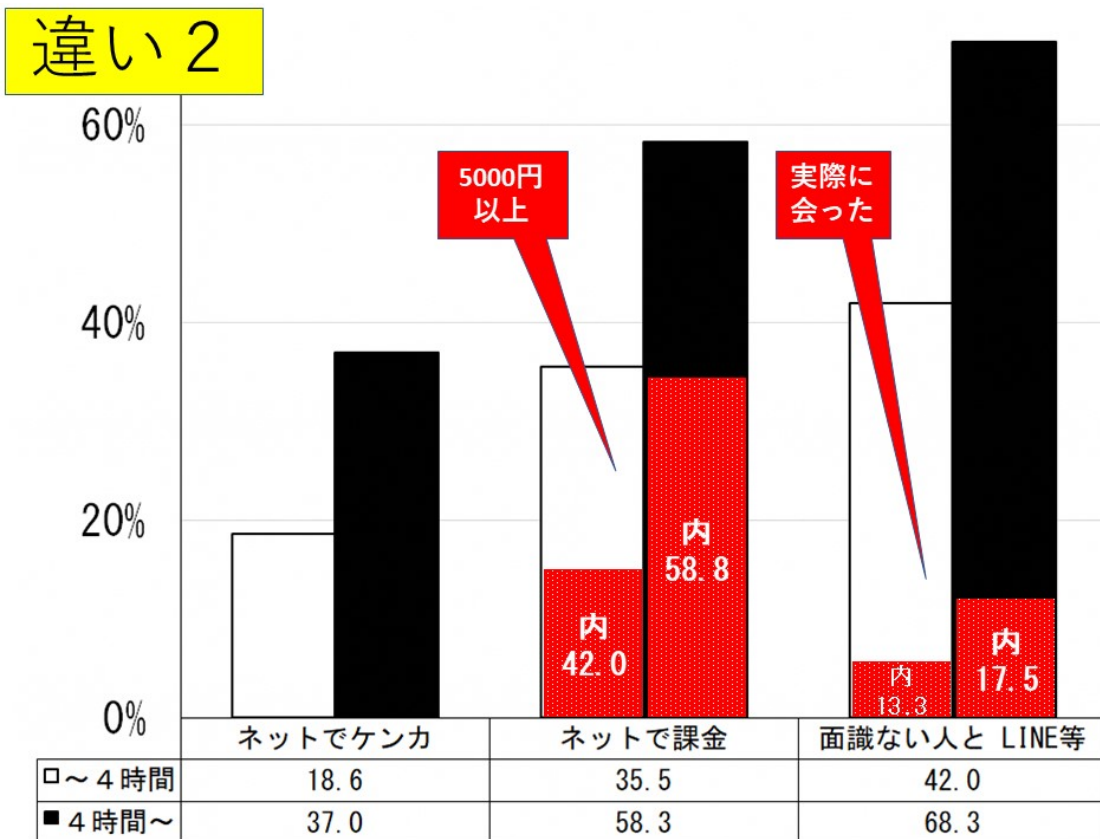


インターネットを4時間以上使う人は、4時間までの人より、

- ・ 朝食を食べない
- ・ 夜遅くに寝る
- ・ よくイライラする
- ・ 勉強に自信がない

など、生活面や勉強面に影響が及んでいるようです。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人の比較②



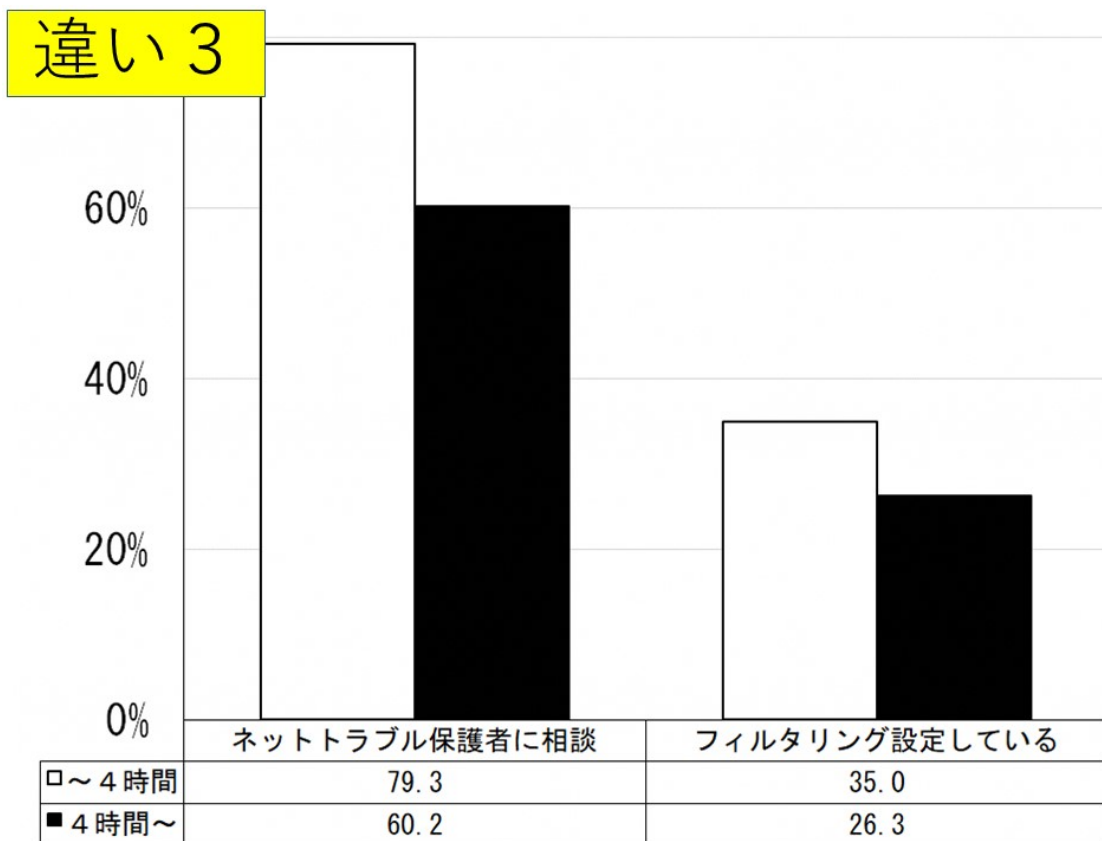
インターネットを4時間以上使う人は、

- ・ ネットでケンカをする
- ・ 課金をする
- ・ 知らない人と SNS でやり取りする

割合が高く、危険が増えています。

中でも注意する必要があるのは、課金額が多かったり、面識がない人と実際に会う割合が高いことです。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人との比較③



インターネットを4時間以上使う人は、さまざまな危険が増えているにもかかわらず、

- ・ ネットでトラブルになっても、保護者に相談しない割合が高い
- ・ 半数以上の人がフィルタリングを使っていない割合が高い

ことがわかります。